

# 平成30年度 幼稚園経営方針

篠山市立 今田幼稚園

## 【園教育目標】

**「心豊かで、いきいきと活動する今田っ子の育成」  
～げんき・なかよし・力いっぱい～**

### 《今田っ子の合い言葉》

- 「げんき」 …あいさつや返事・食べること・体を動かすこと・十分な睡眠・安全な生活  
「なかよし」 …自分の思いを表現すること・人の話をよく聞くこと・助け合い、思いやる心  
「力いっぱい」 …豊かな想像力・夢中で遊ぶ・失敗してもくじけず挑戦する・感動する心

## 【園経営の基本方針】 ～全ては「信頼関係」から～

子ども・保護者・地域との信頼関係、さらに教職員相互の信頼関係があって、はじめて教育目標は実現できる。そして信頼関係は「対話」「行動」「思いやり」によって築かれる。

- ①幼稚園教育要領に準拠し、市の教育理念をふまえた教育活動を推進し、心豊かで、いきいきと活動する幼児を育成する。
- ②地域や保護者と連携しながら、事故やけがのない安全な園づくりを進める。
- ③社会体験や自然体験を通して、自然・地域・人を愛し、それらと積極的に関わろうとする幼児の育成を図る。
- ④家庭・地域・保育園・小学校・中学校との連携を密にし、教育効果の向上に努めるとともに、開かれた幼稚園づくりを進める。
- ⑤集団生活や2年保育のよさを生かし、同年齢や異年齢の園児が互いに関わりながら成長していく活動を支援する。

## 【目指す園児像】

**「元気な子」「仲良くする子」「力いっぱい活動する子」～人・街・自然の中で～**

### 「元気な子」

- ・ 基本的な生活習慣の基礎を身につけ、あいさつや返事がはっきり言える子
- ・ 危険を予知することができ、安全な生活が送れる子
- ・ 遊ぶこと、食べること、体を動かすこと、寝ることが大好きな子

### 「仲良くする子」

- ・ 自分の思いが表現できる子、先生や友だちの話がしっかり聞ける子
- ・ 声をかけ合って助け合える子、相手への思いやりの心を持つ子

### 「力いっぱい活動する子」

- ・ 想像力を膨らませ、工夫しながら、夢中になって遊べる子
- ・ 身近な環境に進んで関わり、感動できる子
- ・ 新しいことにどんどん挑戦する子、失敗してもくじけない子

## 【めざす幼稚園像】

- 子どもにとって、「早く行きたい」と思える幼稚園
- 保護者にとって、安心して子どもを任せられる幼稚園
- 地域から信頼され、応援してもらえる幼稚園
- 教職員にとって、やりがいのある幼稚園

## 【領域別指導の重点】

### 1 健康

- ・体を十分使っていろいろな遊びにのびのびと取り組ませ、体を動かす楽しさと充実感を味わわせる。また、多様な動きをする中で、体の動きを調節できるようにする。
- ・身のまわりを清潔にし、見通しをもって生活に必要なことを自分でできるようにする。
- ・学校給食や調理体験を通して食べ物への興味や関心を持ち、食の大切さに気づいて、好き嫌いをなく、楽しんで食べられるようにする。
- ・自分の体や健康に関心を持ち、安全に気をつけて行動できるようにする。また、避難訓練等を通して緊急時に適切な行動がとれるようにする。

### 2 人間関係

- ・自分で考えて行動できるようにし、見通しを持って物事を最後までやりとげさせる。
- ・集団生活の中で自分の良さや特徴に気づき、あわせて友だちの大切さ、思いやること、助け合うことの大切さに気づかせる。
- ・人とかかわる楽しさを実感させ、きまりを守ることの大切さに気づかせる。

### 3 環境

- ・自然現象や四季の変化などを五感で感じ取らせ、興味や関心をもたせる。
- ・身近な動植物に愛情をもって接し、大切にしようとする心を育てる。
- ・日本の伝統文化やふるさと今田の文化に親しむ。

### 4 言葉

- ・自分の思ったことや考えたことを言葉でのびのびと表現させる。
- ・絵本を見たり、お話を聞いたりすることから言葉を豊かにし、豊かな想像力を育てる。
- ・日常生活に必要なあいさつや返事を進んでできるようにする。

### 5 表現

- ・園生活の中で様々な音や色、形等に気づき、感じたことをのびのびと表現させ、伝え合う楽しさや喜びを味わわせる。
- ・いろいろな素材に触れ、自分の思いのままに描いたり作ったりさせる。
- ・歌や踊り、楽器の演奏を通して、音楽に親しませ、表現する楽しさを味わわせる。
- ・劇遊びなどで、自分のイメージを動きや言葉で表現したり、演じたりする喜びを味わわせる。

## 【健康および安全管理に関する指導の重点】

### 1 健康

たくましい身体と強い心をもつ園児を育てるため、園の環境衛生に努めるとともに基本的な生活習慣を身につけさせる。

- ①日常生活の健康増進を図るとともに、正しい姿勢や手洗い、うがいなどを徹底する。
- ②常に園児の健康観察に留意し、健康診断の事後指導を徹底する。
- ③家庭と連携して食べ物の好き嫌いをなくし、楽しい給食になるよう工夫するとともに、簡単な調理を通して、食事を作る楽しさを味わわせる。

### 2 安全

きまりを守り、安全に行動しようとする態度を育て、その習慣化を図る。

- ①安全な保育を徹底し、登降園時の安全・交通安全にも十分留意する。
- ②園内の安全点検の徹底を図り、家庭・地域と連携しながら園内外の安全確保に努める。
- ③情緒の安定を図り、危険を予知したり、状況に応じた動きができるようにする。
- ④避難訓練を実施し、安全に避難する態度を身につけさせる。
- ⑤家庭や地域、関係機関と連携しながら防犯体制を充実し、危機管理に努める。